

希望 - Innovation -



東日本大震災から8年。
震災の爪痕はいまだに深く、復興が遅々として進まない被災地。
遠く離れている私たちが、いまできることは何でしょうか。
震災を風化させないために、そして被災地の人々と共にあるために。
一人ひとりに、一人ひとりの希望-Innovation-を運ぶ公開講座です。

第3回

琉球舞踊の現況と展望：東アジアの舞踊との共創の試み

～ お話と琉球舞踊がお楽しみいただけます ～

講師：波照間 永子 氏 [明治大学情報コミュニケーション学部 准教授]

1969年生まれ、沖縄県出身。明治大学情報コミュニケーション学部准教授。明治大学研究・知財戦略紀行アジア太平洋パフォーミング・アーツ研究所代表。専門分野は舞踊学。琉球舞踊重踊流師範、国指定重要無形文化財「琉球舞踊」伝承者。

1993年 お茶の水女子大学家政学部児童学科卒業。1995年 お茶の水女子大学大学院人文科学研究科舞踊教育学専攻修了(修士・人文科学)、1998年 お茶の水女子大学人間文化研究科人間発達学専攻博士課程を経て、日本学術振興会特別研究員PDに従事。2000年博士(学術)取得。比較舞踊学会研究奨励賞(2002年)。沖縄文化協会賞受賞(2006年)。

幼い頃から洋舞を学び、大学入学を機に志田房子より琉球舞踊を師事。2000年 沖縄タイムス芸術選賞新人部門最高賞受賞。2004年 琉球舞踊重踊流教師、2007年 師範免状取得。2013年より国指定重要無形文化財「琉球舞踊」伝承者。

主な著書・論文

著書：『スポーツ人類学の世界：早稲田の窓から』(共著 2019年)、『沖縄県史 各論編8 女性史』(共著 2016年)、『近代日本の身体表象』(共著 2013年)、『日本人のからだ・再考』(共著 2012年)。論文：「志田房子作 琉球舞踊《鎮魂の詞》の表象—空間・音・身体の重層性」(『比較舞踊研究』第25巻 2019年)他。

実演：志田 真木 氏 [琉球舞踊重踊流 二世宗家]

1970年生まれ。3歳より母親である志田房子に師事。沖縄県立芸術大学大学院修了。現在、沖縄タイムス伝統芸能選考会選考委員、琉球舞踊保存会伝承者。文化庁、沖縄県、国際交流基金主催による公演や自主公演で、アジア、ハワイ、北米、オセアニア、ヨーロッパ、中東など世界各地での公演にも多数参加。国内外で活躍するなか、古典舞踊を基調としたコラボレーションなど、他ジャンルとの琉球舞踊の融合等にも意欲的に取り組んでいる。

主な受賞歴

1994年度 沖縄タイムス芸術選賞グランプリ、2008年度 沖縄タイムス芸術選賞大賞、2015年度 文化庁芸術祭参加『真木の会』にて文化庁芸術祭賞大賞、2019年 第76回全国舞踊コンクール優秀指導者など、他多数。

日時： 2019年10月31日(木) 13:00～14:30

会場： 津田塾大学小平キャンパス 特別教室

聴講料：無 料

申し込み・問い合わせ先：津田塾大学ウェルネス・センター

〒187-8577 小平市津田町2-1-1

TEL 042-342-5147 FAX 042-342-5144

申し込み方法：ハガキ、FAXで、ご住所、ご氏名、電話番号ご記入の上、上記申し込み先までお送りください。

受講申し込み後、特にこちらから連絡がない限り受講可能です。

共催：津田塾大学公開講座「総合2019」